

# 学校図書館支援センター通信 NO.138

11月号  
令和元年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 4年目教員対象「授業力アップ研修」小学校編 学校図書館の活用方法を学ぶ

10月号では、中学校の研修会の様子を紹介しました。今月号は、市川市立八幡小学校と市川市立大洲小学校で行われた小学校の先生方の研修会の様子をお知らせします。

【10月24日（木）市川市立八幡小学校 授業者 土橋 弥生先生】

5年生 総合的な学習の時間

「選んで、食べて、健康に！～食のプロフェッショナルを目指そう」



土橋先生は、カリキュラムマネジメントの視点を取り入れ、各教科等と関連づけた年間指導計画を考え、さらに総合的な学習の時間の学習活動企画を作成していました。

今回の単元は、第1次「健康的な食生活って何だろう」、第2次「健康な食生活にするために何が出来るのか考えよう」、第3次「食生活を見直し、より良いものにしよう」で構成され、本時では、第2次の学習として「残飯、残菜がゼロになり、栄養価の高い給食メニューを考えよう」をめあてに、グループごと料理を考えていました。考えを広げるために図書資料を活用しました。また、学校司書 野本真紀子さんも一緒に授業に参加し、担任と学校司書が連携を図りながら進めていました。今回は、栄養に関する図書とレシピに関する図書に分けてブックトラックに載せ、授業のねらいに合わせて、図書資料の提供を行っていました。協議会では、様々な思考ツールについても学ぶことができました。

### 【4年目教諭の感想】

どの学習も見通しを持って授業づくりをしていくことの大切さを改めて感じました。本日の授業で図書を活用する場面を取り入れることができたのも、見通しを持って計画を立てていたからだと思います。しっかりと計画を立て、どの場面で何が活用できるかを整理しておくことが図書館を上手に活用する一番の近道なのではないかと思いました。必要な時に必要な図書と出会わせられることができるようにしたいと思いました。

【10月29日（火）市川市立大洲小学校 授業者 吉岡 洋子先生】

3年生 学級活動「自分テーマのクイズの本を作ろう」



今回の授業では、児童の情報活用能力や問題発見・解決能力の育成と9類以外の図書にも興味を持つことがねらいです。6分ずつ時間を区切りながら4冊の本の試し読みをして、新しい発見は情報カードに書きます。集めた情報カードをもとに、児童たちはクイズ本を作ります。授業の中で、8類はことば、4類は自然（理科）の図書であることや目次・索引の使い方の説明もありました。

授業後の協議会では、①日々の読み聞かせが大切であること②本の情報提供をすることも担任として大切な役割であること③分類等の図書館利用指導は繰り返し行うこと④読書記録を活用することで子供たちの意欲が高まること⑤知識を得る喜びを共有すること

共有するように教員が仕組むこと等、担任として大切なことを具体的に教えていただきました。

### 【4年目教諭の感想】

- ・児童に「自分の知らない本に触れる活動」「本の魅力に気づかせる活動」を継続的に行うことが、児童の主体的な読書活動の充実につながるということを学びました。今後の自分の授業や学級活動にいかしたいと思います。
- ・読み聞かせの重要性や多くの本に触れることの大切さを知りました。「味見読書」を通して、子供たちが新しい興味を持つことができると感じました。ぜひ学級に取り入れていきたいです。



大町小学校では毎年11月に、図書委員による読書集会を行っています。昨年は、図書館クイズと、「注文の多い料理店」の大型紙芝居を行いました。集会のあと、紙芝居の片づけをしていると、一人の児童が来て、「前に自分で読んだ時より、お話がわかりやすく楽しかった！」と感想を話してくれました。「楽しんでもらえたんだ！」と、図書委員はもちろん、私自身も嬉しい瞬間でした。

昨年感想を聞かせてくれた児童は、今年図書委員に入り、活躍しています。図書の行事を含め、図書室から発信することの全て、児童たちが本に親しみを持つチャンスだなど、改めて感じています。今年は新しい仲間と、昔話の劇にチャレンジします！「読書って楽しい！」と思ってくれる人を一人でも増やせるように、図書委員と力を合わせ、がんばっていききたいと思います。

【市川市立大町小学校 学校司書 阿部 仁麗】

## 亀高小学校の取組を紹介します！中央図書館利用＆作家講演会

### 地域の公共図書館とつながる

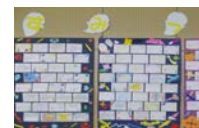
亀高小学校では、今年度より学級単位で中央図書館を訪れ、利用の仕方を体験する学習を行っています。そのために、保護者の方へ公共図書館の利用券作成のご協力を呼びかけたそうです。

第1回目は、10月1日に行われ、担任の先生と校長先生の引率のもと、3年3組の児童が中央図書館へ足を運びました。あいさつ、お礼を含めた公共のマナーを守って利用することが大きな目的です。子供たちは、実際に本を借り、読書を楽しみました。学校図書館に蔵書していない本を何冊も手にして満面の笑みを浮かべる児童の様子も見られました。本の返却は、保護者の方と一緒にいきます。中央図書館がより身近な存在になる取組となっています。



### 作家講演会 武田 美穂さん

11月1日（金）がんこちゃんのキャラクターでおなじみの絵本作家「武田美穂さん」をお招きして、作家講演会が行われました。低学年では読書の幅を広げること、高学年ではキャリア教育につなげることを目的とした講演会でした。会の冒頭、がんこちゃんの絵を実際に書いている様子がプロジェクターで映し出され、児童たちはすぐに武田さんの魅力に惹きつけられていました。その後、「ありんごんだん」の参加型読み聞かせ、絵本ができるまでの裏話を伺いながらの読み聞かせ等が続き、終始楽しい時間が過ぎていきました。また、即興で児童と一緒に絵本を作りあげ、児童にとって大変貴重な時間となりました。最後に、武田さんが絵本に込めた思い「明日もいい日で、けっこうみんないい人なんじゃない」というメッセージが絵本に隠されていることを知り、児童の心にも響いたようでした。



## ☆第二中学校 知的書評合戦 全校ビブリオバトル～国語科の取組～



第二中学校では、朝読書を毎日行っています。そこで、「おすすめの本の紹介ができるのではないかな」という国語科の先生方の考えのもと、国語科主催の全校ビブリオバトルを行いました。1～3学年すべての学年が参加するこの取組を通して、貸し出し冊数も増加したそうです。

10月18日（金）の須和田祭（学習発表会）にて、全校ビブリオバトル決勝戦が開催されました。1、2年生は学年1名、3年生は各クラス1名が代表に選出され、全校生徒を前に堂々とおすすめの本の紹介をしていました。身ぶりを入れて発表したり、参観している人たちに呼びかけながら話をしたりするなど真剣に伝える姿に、聞き手も発表に引き込まれ、会場が一体となっていました。「いじめはいけない」「大好きな家族、友人、支えてくれる先生方と一緒にいられることがどれほど幸せか」など本を読んで感じたことを素直に言葉にしており、本を通してだからこそ伝えられるのではないかと感じました。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市亀高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

